

平成13年11月9日

各位

広栄化学工業株式会社

## 収益構造改革計画について

広栄化学工業株式会社（本社：大阪府中央区、社長：村本信幸）は、極度に厳しい業績状況に鑑み、事業環境の変化に素早く対応し、早急に利益計上可能な企業体質を実現するために、収益構造改革計画を策定いたしましたので、発表いたします。

### 記

#### 1. 計画の位置付け

収益性の急速な悪化に対処し、早期に事業基盤を強化し業績改善を図る。

事業 環境	・日本経済低迷の長期化
	・IT関連産業を中心とする世界経済の減速
	・同時多発テロの影響
	・医薬中間体製品の競争激化と多価アルコールの市況低迷

《事業環境の変化にすばやく対応》

利益計上が可能な体質を早期に実現

少数精鋭の身軽な体質と、含窒素有機化合物群における技術蓄積を活用し、医農薬関連製品の充実を図るとともに、新しい製品群として機能性製品群を創出できる企業を目指す。

#### 2. 計画の骨子

競争力のあるコスト構造の実現

- ・製造コストの更なる削減
- ・少数精鋭の身軽な体質への変身      400人体制の早期実現
  - 管理・間接部門人員の2割削減
  - 生産体制の見直しによる製造人員の削減
  - 営業体制の見直しによる戦力強化
  - ERPの導入による業務革新
- ・物流/販売費用の削減
  - 物流拠点の集約

- 競争原理の更なる活用
- 商社の効率的活用
- 在庫の圧縮と管理の徹底
- ・ 外部委託費、その他経費の削減

製品ポートフォリオの充実

- 顧客への適切な対応、商業化までのスピード重視
- 医農薬および機能性化学品分野への重点志向
- 柔軟な研究開発体制への変革

営業と研究の連携強化

研究員は現状水準を維持

構造改善

事業構造の改善は既定方針どおり推進

- コスト競争力とフレキシビリティを備えた液相・気相マルチプラントの追求
- 多価アルコール事業の再構築

### 3. 計画目標

#### 1) 単体

	目 標		
	2002 年度	2003 年度	2004 年度
売上高	2 0 6 億円	2 1 8 億円	2 2 3 億円
営業利益	2 億円	1 0 億円	1 0 億円
経常利益	2 億円	8 億円	8 億円

#### 2) 連結

	目 標		
	2002 年度	2003 年度	2004 年度
売上高	2 2 4 億円	2 3 6 億円	2 4 1 億円
営業利益	2 億円	1 0 億円	1 0 億円
経常利益	2 億円	8 億円	8 億円

以上

[本件についてのお問い合わせ先]  
 広栄化学工業株式会社 総務人事室  
 TEL 06-6204-1515